

# 政策2

元気で健やかに暮らせるまち

＜健康福祉分野＞

---

**政策 02 元気で健やかに暮らせるまち**

**施策 01 地域福祉の推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	地域で助け合い、支えあいができる環境が整っています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	地域で手助けしたり、されたりする環境が整っていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	46.5	52.4	50.3	➔
評価	<p>(状況) 平成31年度は50.3%で、平成30年度より2.1ポイント減少しましたが、後期基準値より3.8ポイント増加しています。                      (原因) 若い年代においてはやや低めの割合で停滞傾向がみられるものの、年代が上がるほど割合が高くなっており、町内会や地域の活動を通して、地域における助け合い、支え合いを実感していることが要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

基本事業 02 多様な地域福祉活動の推進

基本事業 03 地域で見守りあう仕組みづくり

基本事業01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

指標①	福祉活動に取り組む意識がある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	59.8	54.7	55.1	→
評価	<p>(状況) 平成31度は55.1%で、平成30年度より0.4%ポイント増加していますが、後期基準値より4.7%ポイント減少しています。                      (原因) 60歳代以上で「興味や関心がないので行う気はない」と回答した割合が約20%である一方で、20歳代から50歳代では40~50%程度となっており、若い世代や就労世代において福祉活動に対する興味関心が低いことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

指標②	この1年間に福祉活動に取り組んだことがある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	11.8	16.1	15.7	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は15.7%で、平成30年度より0.4%ポイント減少していますが、後期基準値より3.9%ポイント増加しています。                      (原因) 20歳代から30歳代で地域福祉活動への参加割合が減少した一方で、40歳代や75歳以上の方の参加割合は増加しており、世代による意識の違いはあるものの、地域の担い手を支援、養成する講座等を継続的に実施してきたことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業02 多様な地域福祉活動の推進

指標①	福祉活動を行っている団体・事業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	社会福祉課	団体	189	203	218	220
評価	<p>(状況) 平成31年度は218団体で、平成30年度より15団体、後期基準値より29団体増加しています。                      (原因) 高齢化に伴う介護や障害サービスに対する需要が増加したため、福祉関係事業者等が増加したことが要因です。</p>								(横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業02 多様な地域福祉活動の推進

指標②	民生委員・児童委員の年間平均活動日数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	社会福祉課	日/年	143	154	146	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は146日で、平成30年度より8日減少していますが、後期基準値より3日増加しており、後期目標値を達成しています。                      (原因) 12月の民生委員児童委員の改選により、業務引継ぎに時間を要し一時的な減少がみられたものの、関係機関との連携による支援などを継続して行っていることが要因と考えられます。</p>								目標達成度 (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 地域で見守りあう仕組みづくり

指標①	良好な近所づきあいができている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	—	40.5	38.9	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は38.9%で、平成27年度の47.8%より8.9ポイント、平成30年度より1.6ポイント減少しています。                      (原因) 近所づきあいができているとする割合は、20歳代から50歳代にかけて低く、年代が上がるほど割合が高くなっています。若い年代では、道端で挨拶をするような関係性は十分に構築できているものの、近所・地域への積極的な関わりについては低い傾向がみられることが要因と考えられます。</p>								<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事業03 地域で見守りあう仕組みづくり

指標②	日常生活における見守り協定を締結している事業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	社会福祉課	件	2	8	9	8
評価	<p>(状況) 平成31年度は9件で、平成30年度より1件、後期基準値より7件増加し、後期目標値を達成しています。                      (原因) 企業のCSR(社会的責任)に対する関心の高まりにより、企業側から理解や協力を得られていることが要因と考えられます。</p>								<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事業03 地域で見守りあう仕組みづくり

指標③	災害時において要援護者を見守り合う仕組みがある地域割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	社会福祉課	%	23.4	23.4	—	50
評価	要援護者避難訓練を実施した行政区の割合								<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>
	<p>(状況) 平成31年度は令和元年台風第19号による被災の影響により要援護者避難訓練が中止されたため、実績値を取得できませんでした。</p>								



**政策 02 元気で健やかに暮らせるまち**

**施策 02 健康づくりの推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	市民が健やかに育ち、健康に暮らしています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	自分が健康だと思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	76.2	76.6	75.3	➔
評価	<p>(状況) 平成31年度は75.3%で、平成30年度より1.3ポイント、後期基準値より0.9ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。                      (原因) 65歳以上が68.0%で平成30年度より2.7ポイント、後期基準値より8.2ポイント減少しており、年齢を増すことで健康観が、体力や疾病ばかりではなく、ストレスなどの精神的な健康不安が影響していることが要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 生活習慣の改善
- 基本事業 02 疾病予防・早期発見・早期治療の推進
- 基本事業 03 母子保健の充実
- 基本事業 04 食育の推進
- 基本事業 05 医療体制の充実

**基本事業01 生活習慣の改善**

<b>指標①</b>	健康に良い生活習慣の平均実践項目数（全12項目中）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	項目	5.2	5.85	5.62	➔	☀️ (横ばい)
<b>評価</b>	(状況) 平成31年度は5.62項目で、平成30年度より0.23項目減少しましたが、後期基準値より0.42項目増加しています。 (原因) 65歳未満の方は4.90項目と後期基準値より低く推移していますが、一方で、65歳以上の方は7.07項目と高くなっており、年齢を増すにつれ健康に良い生活習慣を意識して実践していることが要因と考えられます。				(項目)					

**基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療の推進**

<b>指標①</b>	1年に1回健康診断を受けている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	76.9	82.5	79.7	➔	☀️ (横ばい)
<b>評価</b>	(状況) 平成31年度は79.7%で、平成30年度より2.8%ポイント減少、後期基準値より2.8%ポイント増加しています。 (原因) 65歳以上で平成30年度より5.5%ポイント減少しており、年齢が増すにつれ疾病の予防、早期発見、早期治療の大切さの意識が下がることが要因と考えられます。				(%)					

**基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療の推進**

<b>指標②</b>	がん検診を受けている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	57.1	56.9	54.1	➔	☁️ (横ばい)
<b>評価</b>	(状況) 平成31年度は54.1%で、平成30年度より2.8%ポイント、後期基準値より3.0%ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 65歳以上で、66.9%と後期基準値より9.8%ポイント増加していますが、一方で65歳未満では48.0%と9.1%ポイント減少しており、若い世代の早期発見、早期治療の意識が低いことが要因と考えられます。				(%)					

**基本事業03 母子保健の充実**

<b>指標①</b>	乳幼児健診の平均受診率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	93.6	97.6	98.6	➔	☀️ (横ばい)
<b>評価</b>	(状況) 平成31年度は98.6%で、平成30年度より1.0%ポイント、後期基準値より5.0%ポイント増加しています。 (原因) 全ての乳幼児健診の受診率において後期基準値を上回っており、3~4か月児健診、1歳6か月児健診及び3歳児健診においては全国や県の平均を上回っています。未受診者への対応について見直しを実施しており、特に平成27年度以降はハガキ、電話、訪問による受診勧奨を毎月実施していることが要因と考えられます。				(%)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 母子保健の充実

指標②	3歳児健診受診者1人当たりのむし歯本数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	健康課	本	0.89	0.8	0.73	0.8	(横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は0.73本で、平成30年度より0.07本減少しています。後期基準値より0.16本減少し、後期目標値を達成しています。					目標 達成度				
	(原因) 3~4か月児健診での健康教育や、平成28年度より開始した1歳児育児体験事業(1歳児come☆かむ広場)における歯磨き指導、1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診でのフッ素塗布等において、乳幼児期からの歯の健康の重要性を伝えることで、歯科保健の大切さが浸透してきたことが要因と考えられます。					(達成)				

基本事業03 母子保健の充実

指標③	1歳6か月児健診の四種混合、麻しん、風しんワクチンの終了者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	92.8	96.4	96	95	(横ばい)
評価	麻しん、風しんワクチンの定期接種期間は1歳以上2歳未満です。					目標 達成度				
	(状況) 平成31年度は96.0%で、平成30年度より0.4ポイント減少していますが、後期基準値より3.2ポイント増加し、後期目標値を達成しています。					(達成)				
(原因) 全ての対象者に予防接種手帳を送付するとともに、未接種者に対しては、乳幼児健診時や広報多賀城、市ホームページ等において接種勧奨を行っていることが要因と考えられます。										

基本事業03 母子保健の充実

指標④	出産後の支援について満足している者の割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	—	87.6	90.9	→	(横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は90.9%で、平成30年度より3.3ポイント、平成27年度の87.5%より3.4ポイント増加しています。					目標 達成度				
	(原因) 妊娠期からの継続した支援や産前産後サポート事業、新生児訪問事業等を実施していることや、医療機関等の各関係機関と連携し出産後の支援を実施していることが要因と考えられます。					(達成)				

基本事業03 母子保健の充実

指標⑤	1歳6か月児健診の経過観察者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	健康課	%	33.8	30.4	29.3	41	(横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は29.3%で、平成30年度より1.1ポイント、後期基準値より4.5ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。					目標 達成度				
	(原因) 幼児期への移行期である1歳児の親へ具体的な接し方の理解と実践を通して子どもの健やかな成長発達を促すことを目的とした1歳児育児体験事業(1歳児come☆かむ広場)の実施や発達ポイントや年齢に応じたかわりのヒントとなるよう子育て応援ツールである「すくすく」「すこやかファイル」の配布等が、要因と考えられます。					(達成)				



□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 食育の推進

指標①	朝食を食べている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	71.8	73.3	70.8	➔
評価	<p>(状況) 平成31年度は70.8%で、平成30年度より2.5ポイント、後期基準値より1.0ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。                  (原因) 65歳以上は84.3%と後期基準値より12.5ポイント増加していますが、一方で、65歳未満は63.6%と後期基準値より8.2ポイント減少しており、学生や就労している世代の朝食摂取の時間的な余裕が影響していることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業04 食育の推進

指標②	主食、主菜、副菜のそろった食事をとっている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	46.5	50.5	46.8	➔
評価	<p>(状況) 平成31年度は46.8%で、平成30年度より3.7ポイント減少していますが、後期基準値より0.3ポイント増加しています。                  (原因) 60歳未満の各年代では50%以下の低い割合での推移となっていますが、60歳以上では、いずれも55%以上の割合と順調に推移しています。60歳以上の市民が健康のためにバランスの良い食事を意識し、実践していることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業04 食育の推進

指標③	朝食を毎日食べている小学6年生の割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	89.4	88.8	87.1	➔
評価	<p>(状況) 平成31年度は87.1%で、平成30年度より1.7ポイント、後期基準値より2.3ポイント減少していますが、横ばい状態を維持しています。                  (原因) 平成30年度と比較して「まったく食べていない」が0.7ポイント「あまり食べていない」が0.6ポイント減少し、「どちらかといえば食べている」は2.9ポイント増加しており、ライフスタイルの多様化や生活習慣の変化による微減傾向が見られるものの、一方で、朝食を意識し食べる児童が増加していることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業04 食育の推進

指標④	朝食を毎日食べている中学3年生の割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	84.5	79.1	81.7	➔
評価	<p>(状況) 平成31年度は81.7%で、平成30年度より2.6ポイント増加していますが、後期基準値より2.8ポイント減少しています。                  (原因) 平成30年度と比較して、「どちらかといえば食べている」が2.4ポイント減少しており、ライフスタイルの多様化や子供の生活習慣が変化していることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 医療体制の充実

指標 ①	塩釜地区休日急患診療センター等の受診者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき											
		代替	業務取得	その他	健康課	人/年	1,683	1,464	1,409	—										
評価	(状況) 平成31年度は1,409人で、平成30年度より55人、後期基準値より274人減少しています。 (原因) インフルエンザ等の流行性疾患や気候変動により受診者数は毎年増減しますが、受診者の内訳として、休日1,124人、土曜日準夜帯139人、歯科146人となっており、日曜、祝日などに急病となった市民が応急の初期診療を適切に受けることができていると考えられます。				(人/年)				目標 達成度											
					<table border="1"> <caption>受診者数 (人/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,683</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,464</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,464</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,464</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,409</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>1,409</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>1,409</td> </tr> </tbody> </table>				年度	受診者数	H26	1,683	H27	1,464	H28	1,464	H29	1,464	H30	1,409
年度	受診者数																			
H26	1,683																			
H27	1,464																			
H28	1,464																			
H29	1,464																			
H30	1,409																			
H31	1,409																			
R02	1,409																			




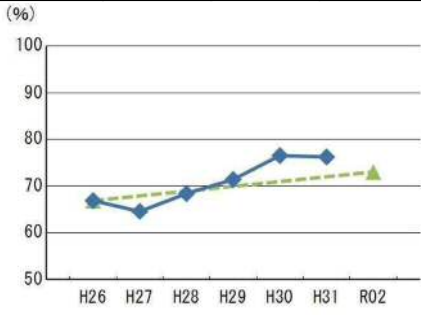


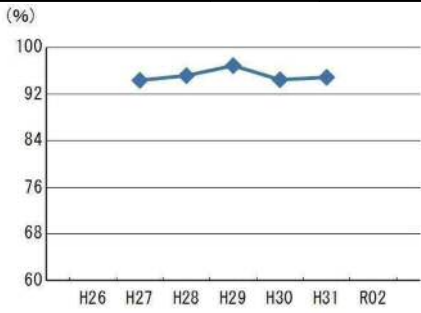

政策 02 元気で健やかに暮らせるまち

施策 03 子育て支援の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
子どもとその保護者	安心して子どもを育てられる環境が整っています。

施策の成果状況と評価

指標	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①	子育て支援課	中学生以下の子どもを持つ保護者対象		%	66.9	76.5	76.2	➔	 (向上)
評価	(状況) 平成31年度は76.2%で、平成30年度より0.3ポイント減少していますが、後期基準値より9.3ポイント増加しており、後期目標値は達成しています。 (原因) 子ども・子育て支援新制度開始後、教育・保育施設の整備や子育てサポートセンター等の子育て支援拠点が充実していることが、要因の1つと考えられます。一方、市民アンケートの自由記述では医療費助成制度や通学路の整備、登下校時の見守りなどへの意見も寄せられていることから施策を超えた総合的な取組が必要と考えられます。							目標 達成度   (達成)	
指標	この地域で、今後も子育てしていきたいと思う保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
②	子育て支援課	3歳児の子どもを持つ保護者 (3歳児健診時のアンケート調査)		%	—	94.5	94.9	➔	 (横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は94.9%で、平成30年度より0.4ポイント、平成27年度の94.4%より0.5ポイント増加していますが、統計誤差の範囲で、引き続き高い値を維持しています。 (原因) この指標は3歳児健診時の調査によるもので、乳幼児をもつ保護者は子育てをするうえで住みやすいまちと捉えていることが要因と考えられます。							目標 達成度   (高)	

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 就学前の教育・保育施設等の充実
- 基本事業 02 地域における子ども・子育て支援の充実
- 基本事業 03 子育ての不安の解消
- 基本事業 04 子育ての経済的負担の軽減

基本事業01 就学前の教育・保育施設等の充実

指標	教育・保育施設等の待機児童数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い						
①	成果	業務取得	下がると良い	人	72	70	103	0	 (低下)
	保育課			各年度4月1日現在の数値です。国定義務待機児童数とは異なります。					
評価	(状況) 平成31年4月1日現在の実待機児童数は103人で、平成30年4月1日現在より33人、後期基準値より31人増加しています。 (原因) 平成31年4月に認可保育所1か所が開設され定員数は増加したものの、未就学児の人口は微減傾向にある中でも就労する保護者は増加していること、幼児教育・保育の無償化が広く周知されたことなどにより、入所希望者が増えたことが要因と考えられます。			<p>折線グラフのデータ: (H26, 72), (H27, 60), (H28, 30), (H29, 65), (H30, 70), (H31, 103), (R02, 0)</p>					目標達成度  (低)

基本事業01 就学前の教育・保育施設等の充実

指標	教育・保育施設等の定員数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い						
②	代替	業務取得	上がると良い	人	900	1,265	1,334	1,452	 (向上)
	保育課			各年度4月1日現在の数値です。					
評価	(状況) 平成31年4月1日現在の入所定員数は1,334人で、平成30年4月1日現在より69人、後期基準値より434人増加しており順調です。 (原因) 平成31年4月に認可保育所1か所が開設したことにより、入所定員数が増加していることが要因です。一方で、教育・保育施設等用地となる適地が少ないことや保育士不足により、これ以上の大きな向上は望めない状況です。			<p>折線グラフのデータ: (H26, 900), (H27, 1,100), (H28, 1,200), (H29, 1,200), (H30, 1,265), (H31, 1,334), (R02, 1,452)</p>					目標達成度  (低)

基本事業01 就学前の教育・保育施設等の充実

指標	地域型保育事業の数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
③	成果	業務取得	上がると良い	箇所	0	7	7	6	 (向上)
	保育課			各年度4月1日現在の数値です。					
評価	(状況) 平成31年4月現在は7か所で、平成30年4月と同数ですが、後期基準値より7か所増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 早期の待機児童解消を目指して、平成27年度に待機児童数の多い3歳未満児を受け入れる施設として積極的に整備を行ったことが要因です。			<p>折線グラフのデータ: (H26, 0), (H27, 3), (H28, 7), (H29, 7), (H30, 7), (H31, 7), (R02, 6)</p>					目標達成度  (達成)

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標	市の子育て相談ができる場を知っている保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①	成果	市民アンケート	上がると良い	%	—	84.4	94	→	 (向上)
	子育て支援課			小学生以下の子どもを持つ保護者対象					
評価	(状況) 平成31年度は94.0%で、平成30年度より9.6ポイント、平成27年度の90.7%より3.3ポイント増加しており順調です。 (原因) 小学生以下のお子さんがある保護者アンケートで、相談先では、子育てサポートセンター、保育所・幼稚園、児童館の割合が高くなっており、身近でよく利用する場所が相談窓口であると認知されていることが要因と考えられます。			<p>折線グラフのデータ: (H26, 84.4), (H27, 90), (H28, 90), (H29, 90), (H30, 84.4), (H31, 94), (R02, 94)</p>					目標達成度  (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ②	地域子育て支援拠点箇所数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	子育て支援課	箇所	3	3	3	4	
評価	<p>(状況) 平成31年度は、子育てサポートセンター、鶴ヶ谷児童館及び西部児童センターの3か所で開催しており、後期基準値及び平成30年度の現状を維持し、横ばいです。 (原因) 拠点施設の3か所が連携し、定期的に情報交換を行ったり、合同での取り組みを行っています。また、子育て世代包括支援センターとして妊娠期から子育て期の親子向けの事業を開催していることが要因です。</p>				<p>(箇所)</p>					

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ③	放課後児童クラブの入級可能定員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	子育て支援課	人	320	680	680	566	
評価	<p>(状況) 平成31年度は680人で、後期基準値より360人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 子ども・子育て支援事業計画に沿って施設整備を進めたことが要因です。</p>				<p>(人)</p>					

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ④	一時預かり・病後児保育の利用可能定員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	保育課	人	8,660	11,326	8,843	12,140	
評価	<p>各年度4月1日現在の数値です。 (状況) 平成31年度は8,843人で、平成30年度より2,483人減少していますが、後期基準値より183人増加しています。なお、利用実績は平成30年度が3,099人、平成31年度が3,216人で定員数を大きく下回りながら横ばいで推移しているため、ニーズに対応できる体制は確保できています。 (原因) 昨今の保育士不足の影響により、一時預かりの実施設が1か所減少したことが要因です。なお、教育・保育施設等の整備に伴い、入所待ち児童の定期的利用ニーズは減少していると考えられます。</p>				<p>(人)</p>					

基本事業03 子育ての不安の解消

指標 ①	自分の子ども(乳幼児)に対して、育てにくさを感じている乳幼児を持つ保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	下がると良い	子育て支援課	%	—	21.9	20.7	→	
評価	<p>3歳児の子どもを持つ保護者(3歳児健診時のアンケート調査) (状況) 平成31年度は20.7%で、平成30年度より1.2ポイント、平成27年度の30.5%より9.8ポイント減少しており順調です。 (原因) この指標は3歳児健診時の調査によるもので「育てにくさを感じている」と回答した保護者のうち、相談先を知っているかとの問いに76.2%が「知っている」と回答しており、乳幼児を持つ保護者への支援体制が概ね認知されていること、また子育て世代包括支援センターの取組により、相談窓口の周知が行き渡ってきたことが要因と考えられます。</p>				<p>(%)</p>					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 子育ての不安の解消

指標 ②	家庭児童相談人数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子育て支援課						
					人	355	274	284	—	
評価	<p>(状況) 平成31年度は284人で、後期基準値よりも71人減少していますが、平成30年度より10人増加しています。                      (原因) 児童虐待防止に関する講座などの普及、啓発活動の実施により、地域住民や関係機関の意識が向上し、相談が増えていることが要因と考えられます。</p>									目標 達成度
										---

基本事業03 子育ての不安の解消

指標 ③	家庭児童相談件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子育て支援課						
					件	5,446	5,728	6,062	—	
評価	<p>来所、訪問、電話等で相談対応を行っています。                      (状況) 平成31年度は6,062件で、後期基準値より616件、平成30年度より334件増加しています。                      (原因) 関係機関から来所、電話による相談件数の増加に伴い、協議や情報共有、連絡調整などの対応が増えたことが要因と考えられます。</p>									目標 達成度
										---

基本事業04 子育ての経済的負担の軽減

指標 ①	子育て経済負担の軽減総額				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子育て支援課						
					百万円	1,592	1,538	1,612	—	
評価	<p>年度内の軽減総額                      (状況) 平成31年度は約16億12百万円で、後期基準値より20百万円、平成30年度より74百万円増加しています。                      (原因) 平成30年度からの増加については、令和元年11月から児童扶養手当の支払回数が年3回から年6回に改正され、平成31年度のみ支給月数が15か月分となったことによる児童扶養手当の増加が要因です。</p>									目標 達成度
										---

政策 02 元気で健やかに暮らせるまち

施策 04 高齢者福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
高齢者	高齢者が自立し、健康に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自立高齢者の割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	%	83.7	84	83.9	82
評価	<p>(状況) 平成31年度は83.9%で、平成30年度より0.1ポイント減少しているものの、後期基準値より0.2ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国的に高齢化が進み、本市においても同様の状況のため要介護認定者数の増加が見込まれるものの、介護予防事業(新総合事業)の推進により、抑制が図られたことが要因と考えられます。</p>							目標 達成度  🏰 (達成)	



□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 生きがい活動の推進
- 基本事業 02 介護予防の推進
- 基本事業 03 日常生活の支援
- 基本事業 04 地域包括ケアの充実
- 基本事業 05 認知症対策の推進

**基本事業01 生きがい活動の推進**

指標	内容	単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
①	生きがいを持っている高齢者の割合						
	成果 市民アンケート 上がると良い 介護福祉課	%	83.1	86.1	80	→	
評価	<p>(状況) 平成31年度は80.0%で、後期基準値より3.1ポイント、平成30年度より6.1ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 生きがいを感じない高齢者で退職後間もない65～69歳の年齢層において、割合が8.3ポイント増えていることから、仕事以外の生きがいを地域の中で見いだせない高齢者が増加していること、更に子や孫の世話、家族との団らんに生きがいを感じる割合が6.2ポイントと全ての年代で減少していることから、少子高齢化による人口構成の変化や核家族化の増加により親族との関わりが減少していることが要因と考えられます。</p>						(横ばい) 目標達成度 (低)

**基本事業02 介護予防の推進**

指標	内容	単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
①	介護保険の認定を新たに受けた市民割合						
	成果 業務取得 その他 介護福祉課	%	3.5	3.4	3.3	4	
評価	<p>(状況) 平成31年度は3.3%で、平成30年度より0.1ポイント、後期基準値より0.2ポイント減少していますが、平成29年度と同じ数値を維持していることから、横ばいです。</p> <p>(原因) 地域で取り組まれている活動に対する各種支援メニューの利用が増加傾向にあることから、高齢者が外出し、人と接するきっかけが増加し、介護予防につながったことが要因と考えられます。</p>						目標達成度 ---

**基本事業02 介護予防の推進**

指標	内容	単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
②	介護予防のための行動平均実践項目数 (65歳以上の高齢者)						
	成果 市民アンケート 上がると良い 介護福祉課	項目	6.6	7.33	7.07	→	
評価	<p>(状況) 平成31年度は7.07項目で、平成30年度より0.26項目減少しているものの、後期基準値より0.47項目増加しています。</p> <p>(原因) 70歳以上の高齢者の生活習慣として実践している項目が減少していることが要因と考えられます。</p>						(横ばい) 目標達成度 (達成)

**基本事業03 日常生活の支援**

指標	内容	単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
①	新しい介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用者数						
	成果 業務取得 その他 介護福祉課	人/年	—	421	419	600	
評価	<p>(状況) 平成31年度は419人で、平成28年度の365人より54人増加していますが、平成30年度より2人減少しています。</p> <p>(原因) 地域における介護予防活動が広く展開されていることで、介護予防に関心を持つ高齢者が増えていることが要因と考えられます。</p>						目標達成度 ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 地域包括ケアの充実

指標 ①	連携している在宅医療機関、介護事業所の数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	箇所	—	65	70	➔
評価	実績値は、平成28年度を初年度とする累計です。 (状況) 平成31年度は70か所で、平成30年度より5か所、平成28年度の39か所より31か所増加しています。 (原因) 認知症施策で関わりを持つ機会が増えた医療機関や新たに指定を受けた介護事業所が、ゲートキーパー養成研修など関心の高いテーマに参加したことが主な要因と考えられます。							目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業05 認知症対策の推進

指標 ①	認知症の方への対応方法を知っている市民数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	人	920	3,070	3,551	3,770
評価	認知症サポーター養成講座の受講者数(累計) (状況) 平成31年度は3,551人で、後期基準値より2,631人、平成30年度より481人増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響により3月の講座が中止になったものの、順調に推移しています。 (原因) 一般市民や企業向けの出前講座について、講師を依頼しているキャラバン・メイトと連携し、積極的に講座を実施していることや、平成27年度から継続実施している中学生向けの講座を実施したことで、認知症の理解者を増やす重要性が、徐々に浸透してきていることが要因と考えられます。							目標達成度 ■■■ (高)	



政策 02 元気で健やかに暮らせるまち

施策 05 障害者（児）福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
障害者（児）とその家族	障害者（児）がその適性や能力に応じて、安心して暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	障害者（児）がその適性や能力に応じて、安心して暮らしていると思う割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	社会福祉課	%	60.6	-	-	→
評価	障害者福祉計画策定時実施のアンケートによる取得数値								---
	(状況) 障害者福祉計画アンケートを実施していないため、平成31年度は実績値を取得できていません。								目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 自立支援の推進

基本事業 02 地域生活支援事業の利用促進

基本事業 03 児童発達支援の充実

基本事業 04 各種手当給付・医療費等助成事業の充実

基本事業01 自立支援の推進

指標①	自立支援給付の延べ利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	人/年	720	1,118	1,172	—	—
評価	(状況) 平成31年度は1,172人で、後期基準値より452人、平成30年度より54人増加しています。 (原因) 障害者の人数増によって、全体的にサービス利用件数が増加していることが要因です。特に、居宅介護及び放課後等デイサービスの利用件数が増加しており、サービス利用に必要な計画相談件数も増加しています。								目標 達成度	
									—	

基本事業01 自立支援の推進

指標②	入所施設から地域生活へ移行した人数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	人/年	0	0	0	—	—
評価	(状況) 平成31年度は0人です。 (原因) 平成31年度は入所施設を退所し、地域生活へ移行した方がいなかったことが要因です。								目標 達成度	
									—	

基本事業02 地域生活支援事業の利用促進

指標①	地域生活支援事業の延べ利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	人/年	11,432	9,672	10,002	—	—
評価	(状況) 平成31年度は10,002人で、後期基準値より1,430人減少していますが、平成30年度との比較では330人増加しています。 (原因) 自立支援給付で必要な支援を受けていることにより、地域生活支援事業の利用が後期基準値より減少したと考えられます。一方で、日常生活用具の給付件数は、平成30年度より増加傾向にあります。								目標 達成度	
									—	

基本事業03 児童発達支援の充実

指標①	適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	社会福祉課	%	—	100	100	→	☀️ (横ばい)
評価	児童発達支援利用者対象のアンケート指標です。								目標 達成度	
	(状況) 平成31年度も100%で、平成30年度同様に、後期基準値を達成しています。 (原因) 個別支援計画を作成し、専門職による適切な療育を行うことで保護者の不安軽減や児童の成長につながっていることが要因と考えられます。								☀️ (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 児童発達支援の充実

指標 ②	発達相談を受けた児童の数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	人/年	74	179	181	—	—
評 価	(状況) 平成31年度は181人で、後期基準値より107人、平成30年度より2人増加しています。 (原因) 平成27年度に児童発達支援センターが開設したことが、要因と考えられます。制度周知や関係機関による働きかけも進んでいることから、相談者が増大していると考えられます。				(人/年) 					目 標 達成度
					—					

基本事業04 各種手当給付・医療費等助成事業の充実

指標 ①	延べ特別障害者手当等給付件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	件/年	887	836	935	—	—
評 価	(状況) 平成31年度は935件で、後期基準値より48件、平成30年度より99件増加しています。 (原因) 平成30年度より、新規受給者が増加したことが要因です。				(件/年) 					目 標 達成度
					—					

基本事業04 各種手当給付・医療費等助成事業の充実

指標 ②	延べ医療費助成件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	国保年金課	件/年	26,571	27,644	27,805	—	—
評 価	(状況) 平成31年度は27,805件で、後期基準値より1,234件増加し、平成30年度より161件増加しています。 (原因) 受給対象者の半数以上を占めている後期高齢者医療保険被保険者のうち、医療費助成制度より優先される東日本大震災の被災者に対する一部負担金免除制度が平成27年度で終了したことにより、平成28年度以降の助成件数が大幅に増加したことが要因と考えられます。また、令和元年10月から精神障害者保健福祉手帳1級の方も支給対象となったため、平成30年度より助成件数が増加しています。				(件/年) 					目 標 達成度
					—					



**政策 02 元気で健やかに暮らせるまち**

**施策 06 社会保障等の充実**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	社会保障制度等により、市民の生活基盤が確保されています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	—			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
		その他							
	国の政策等の影響が大きいため成果指標は設定していません。								---
評 価									目 標 達 成 度
									---



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 保険制度の適正な運営
基本事業 02 生活保護者（世帯）への自立支援
基本事業 03 公営住宅の充実
基本事業 04 被災者への生活再建支援
基本事業 05 生活困窮者への自立支援
基本事業 06 介護保険サービスの適切な利用

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標①	国民健康保険税の現年度収納率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	93	94.1	93.4	91.2
評価	(状況) 平成31年度は93.4%で、平成30年度より0.7ポイント減少したものの、後期基準値より0.4ポイント増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度から平成31年度まで4年連続で低所得者層に対する軽減措置などが拡充され、国民健康保険税負担の軽減が図られたことなどが要因と考えられます。								

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標②	介護保険料の現年度収納率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	%	99	99.4	99.4	98
評価	(状況) 平成31年度は99.4%で、平成30年度と同じく、後期基準値より0.4ポイント増加しています。 (原因) 平成27年度から低所得者の第1段階の被保険者に対する軽減措置の実施、平成31年度からは、第1段階から第3段階まで軽減対象者を拡大実施したことにより、保険料負担の軽減が図られたことが要因の1つと考えられます。また、収納担当課における未納対策強化も要因の1つと考えられます。								

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標③	後期高齢者医療保険料の現年度収納率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	99.5	98.9	99.2	99.3
評価	(状況) 平成31年度は99.2%で、平成30年度より0.3ポイント増加しているものの、後期基準値より0.3ポイント減少しています。 (原因) 後期高齢者医療制度被保険者数の増加に伴い、年金等からの天引きによらない普通徴収により保険料を納付する被保険者数も増加していることが、要因と考えられます。								

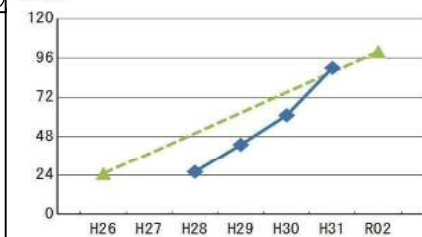
基本事業01 保険制度の適正な運営

指標④	1人当たり医療費			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	その他	国保年金課	円/年	332,887	379,320	378,790	388,000
評価	(状況) 平成31年度は378,790円で、平成30年度より530円減少しており、後期基準値より45,903円増加しています。 (原因) 国民健康保険被保険者数の減少に伴い、医療費総額は減少しているものの、高齢者の加入割合が高くなっていることが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

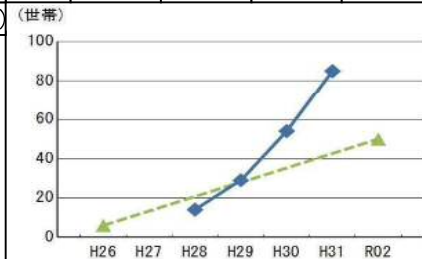
基本事業02 生活保護者（世帯）への自立支援

指標 ①	自立による生活保護廃止世帯数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生活支援課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)					世帯	25	61	90	100	(横ばい) 目標達成度 (高)
	(状況) 平成31年度は29世帯で、累計が90世帯となっています。 (原因) 就労支援員を配置し、ハローワーク等への同行などを実施していることが要因と考えられます。										



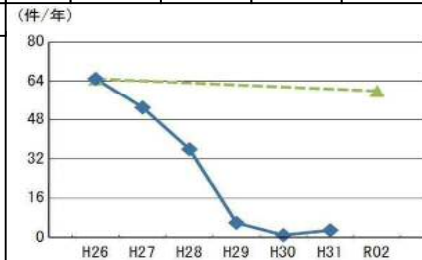
基本事業03 公営住宅の充実

指標 ①	市営住宅に入居し住宅が確保された世帯数（入居世帯数）（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	代替	業務取得	上がると良い	都市計画課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)					世帯	6	54	85	50	(向上) 目標達成度 (達成)
	(状況) 平成31年度は31世帯で、累計が85世帯となっており、後期目標値を達成しています。 (原因) 被災者に限定していた災害公営住宅の入居対象者について、平成29年12月募集分から、一般の方まで拡大したことが要因です。										



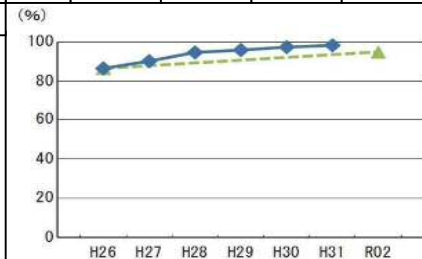
基本事業03 公営住宅の充実

指標 ②	施設維持管理上の苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	都市計画課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)					件/年	65	1	3	60	(向上) 目標達成度 (達成)
	(状況) 平成31年度は3件で、平成30年度より2件増加していますが、後期基準値より62件減少し、後期目標値を達成しています。 (原因) 専門性が高い宮城県住宅公社に管理代行していることで、苦情が発生する前の点検等で事前保全が図られていることが要因と考えられます。										



基本事業04 被災者への生活再建支援

指標 ①	加算支援金申請割合（住宅再建）（基礎支援金ベース）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生活支援課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)					%	86.6	97.4	98.3	95	(向上) 目標達成度 (達成)
	(状況) 平成31年度は98.3%で、後期基準値より11.7ポイント、平成30年度より0.9ポイント増加し、後期目標を達成しています。 (原因) 平成30年度のアンケート調査の結果を踏まえ、加算支援金未申請世帯に対する市ホームページ及び広報多賀城による周知を行ったことや、被災者相談の際に住宅再建の方法に応じた案内を行ったことが要因と考えられます。										



□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 被災者への生活再建支援

指標 ②	仮設住宅（民間賃貸を含む）入居世帯数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活支援課						
評 価	(状況) 平成29年度をもって仮設住宅の供与を終了しています。				世帯	968	—	—	0	—

基本事業04 被災者への生活再建支援

指標 ③	被災者の災害公営住宅への入居割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	都市計画課						
評 価	(状況) 平成28年度に入居が完了し、平成31年度は100%となっています。 (原因) 平成28年12月の宮内住宅の完成により、市内全ての災害公営住宅の整備が完了し、全532戸に入居が完了しています。				%	30.1	100	100	100	☀️ (横ばい)

基本事業05 生活困窮者への自立支援

指標 ①	支援により課題が解決した人数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活支援課						
評 価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				人	—	375	499	840	☀️ (横ばい)
	(状況) 平成31年度は新規相談受付件数283件のうち124人(44%)が課題解決し、累計は499人となっています。 (原因) 平成27年度に自立相談支援窓口を設置し、市民等から相談機関として認知され、年々相談件数が増加し、関係機関へつなぐなどの連携体制が構築されたことが要因と考えられます。									

基本事業06 介護保険サービスの適切な利用

指標 ①	施設サービスを利用している市民数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	介護福祉課						
評 価	(状況) 平成31年度は461人で、後期基準値より171人、平成30年度より23人増加しています。 (原因) 広域の介護老人福祉施設への入所者の増加及び平成29年7月に開設した認知症対応型生活介護施設(グループホーム。定員27人)へ、少しずつ入所者が増えていることが要因と考えられます。				人	290	438	461	463	—

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 介護保険サービスの適切な利用

指標 ②	介護サービス事業者・施設への実地指導件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	介護福祉課	件/年	1	4	4	3
評 価	(状況) 平成31年度は4件で、平成30年度と同数ですが、後期基準値より3件増加しています。 (原因) 計画的な実施に努めていることが要因です。				(件/年)				目 標 達 成 度
									---